記念フォーラム 内容を協議

建設トップランナー倶楽部

建設トップランナー倶楽部（米田雅子代表幹事）は6日、都内で幹事会総会を開き、2014年度収支決算・事業報告、15年度収支予算を承認したほか、第10回建設トップランナーフォーラムの開催、視察研修会の実施など15年度の事業計画を決めた＝写真。

6月30日に港区の建築会館ホールで開く第10回建設トップランナーフォーラムについては、メーンテーマ「地方創生のトップランナー・十年の軌跡」、開催概要、プログラムの説明のあと、3部・2パネルディスカッションそれぞれのテーマ、発表者、アドバイザーを報告し、承認した。

当日は、5月29日から31日に開かれる富山県視察研修会の日程と研修内容を確認したほか、10回目の記念フォーラムについては、歴代のアドバイザー、事例発表者、日本青年会議所建設部会長、建設新事業施策研究会などの紹介方法などについて協議した。

第10回建設トップランナーフォーラムの部別テーマ、発表者は次の通り（予定、敬称略）。

■第1部事例発表／「地方の創生に挑んだ十年　―縦割りを超えて地方を元気に―」

【発表者】大高建設（富山県）、飯古建設（島根県）、竹内組（青森県）、佐藤工業（福島県）

■パネルディスカッションⅠ／「地方創生のトップランナー・十年の軌跡とその未来」

【パネラー】谷口博昭国土技術研究センター理事長、西山周（愛亀・愛媛県）、野津一成（美保テクノス・鳥取県）、住田高寿（住田建設・愛知県）

【コーディネーター】荒木正芳北海道建設新聞社常務取締役

■第2部事例発表／「建設業を磨いて地方創生　―新技術・担い手の確保と育成―」

【発表者】川崎建設（北海道）、たかやま林建（岐阜県）、小野組（新潟県）

■第3部／「地域の安全・安心をめざして」

【発表者】刈屋建設（岩手県）、礒部組（高知県）、日本青年会議所建設部会

■パネルディスカッションⅡ／「インフラの町医者をめざして」

【パネラー】大石久和国土技術研究センター国土政策研究所長、内山雅仁（内山建設・宮崎県）、長瀬雅彦（長瀬土建・岐阜県）、深松努（深松組・宮城県）、飯田誠次郎日本青年会議所2015年度建設部会長

【コーディネーター】米田雅子慶應義塾大学特任教授

＝1面関連＝建設トップランナー倶楽部（代表幹事・米田雅子慶應義塾大学特任教授）が6日に開いた「建設業と農林水産業の連携シンポジウム」での事例発表者とアドバイザーは次の通り（敬称略）。

建設トップランナー倶楽部シンポ 事例発表者とアドバイザー

【第1部　建設業の農業参入】

▽あぐりから地域総合産業へ―西山周（愛亀・愛媛県）▽無農薬ハーブで農商工連携―舟山秀太郎（舟山組・北海道）▽高品質アスパラガス栽培と販路開拓―幌村佑規（幌村建設・北海道）▽オランダ型トマト菜園と木質バイオ利用―深松努（未来彩園・宮城県）▽次世代型植物工場いちごカンパニー―小野貴史（小野組・新潟県）

【同　アドバイザー】

▽農林水産省経営局審議官　山口英彰▽経済産業省大臣官房審議官　若井英二

【第2部　複業による地域創生】

▽森林・農業・地域再生―佐久間源一郎（佐久間建設工業・福島県）▽木材リサイクルから足柄茶・荒廃地再生―文字正和（富士建設・神奈川県）▽漁協と連携、佐渡島フードで地域おこし―廣瀬俊三（廣瀬組・新潟県）▽隠岐牛と定置網で島おこし―田仲寿夫（飯古建設・島根県）▽柱状礁による漁場の再生、繁殖牛の飼育―宮川則男（金田建設・島根県）

【同　アドバイザー】

▽農林水産省農村振興局農村政策部長　佐藤速水▽水産庁漁政部長　水田正和

【第3部　林建協働】

▽林建協働による森林路網整備の推進―長瀬雅彦（たかやま林建・岐阜県）▽岐阜県の林建協働―森本繁司（下呂林建共同企業体・岐阜県）▽林建協働による苗木生産事業の創出―小森胤樹（郡上森づくり協同組合・岐阜県）▽異種の道ネットワーク実現をめざして―杉山文康（杉山建設・岐阜県）▽下山バークパークとブルーベリー農園―梅村正裕（鈴鍵・愛知県）

【同　アドバイザー】

▽林野庁国有林野部長　黒川正美▽国土交通省大臣官房建設流通政策審議官　吉田光市

【第4部　森林再生・地域創生・森林資源活用】

▽オホーツク振興／農業参入から苗木まで―管野浩太郎（管野組・北海道）▽紀州の間伐材で地域を元気に―川口明久（川口建設・和歌山県）▽間伐材活用の軟弱地盤補強工法―原裕（日本建設技術・佐賀県）▽青森ひばの香りで五感を潤す環境を提供―大見義紀（大見海事工業・青森県）▽林産と畜産の堆肥製造と広域流通―内山雅仁（内山建設・宮崎県）

【同　アドバイザー】

▽林野庁森林整備部長　本郷浩二▽国土交通省大臣官房技術審議官　山田邦博